

事業所名 グループホームいこい

日付 平成 21 年 5 月 1 日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 健康運動指導士
実務経験10年以上

ホームヘルパー2級
実務経験3年以上

自主評価結果を見る (評価内容と一緒に添付しています。)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)
(記述式)

グループホームいこいは、民家が密集した住宅地に位置し、近くにデイサービスの施設が隣接しているため、単独ではあるが、孤立感が無いように見受けられる。

管理者は入居者の状態や気持ちを大切にし、どんなことでも入居者に押しつけることのないようスケジュールを決めないで、毎日を心地よく過ごしてもらうことを一番に考えている。職員同士、何でも話し合える環境があり、コミュニケーションも良好である。職員は入居者と明るく会話を交わし、責任を重んじながら、入居者の立場に立って介護業務に従事している。

また、入居者一人ひとりの毎日の様子を詳細に記録した報告書で入居者のありのままの姿を、毎月それぞれの家族に届けることで、入居者と家族との絆の維持に熱意を持って取り組んでいる。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

管理者は、入居者や職員に対する深い思いと、ホームの運営に対する強い責任感をもっているが、地域の住民に対しては、ホームの活動を理解してもらえないように啓発していくことにそれほど執着心がないようである。運営推進会議などを活用し、地域に影響のある人の参画をもっと増やし、地元の人々との交流にも積極的に取り組んでいくことが望まれる。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	入居者の方に、活動を強制せず、他者の思惑を気にしないで過ごしていただく為にスケジュールを決めない。その日の活動は、ケアプランに準拠して、入居者本人の希望や能力に合わせ、職員と相談し、その日に決める。家庭的な雰囲気、居心地の良いグループホームをめざしている。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	職員は入居者と話し合うことで、入居者の気分や体調や意思を確認し、その季節に合わせてその日の活動を臨機応変に決めている。入居者は常に落ち着いた気分で生活することができる。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	職員は入居者を理解するために、全ての入居者一人ひとりの性格や特徴や嗜好などを把握している。また、忙しいときでも入居者の顔を見ながら接するように心掛けている。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	職員の意識を高めるため、内部での定期的な研修を継続し、自治体などが主催する外部の研修にも参加している。 また、日々の介護サービスにおける課題の解決について、全ての職員で話し合い、経営理念の実践に努めている。		